

よりよい社会づくりのため、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

公共性の高い生命保険事業を営む当社では、事業の健全な運営こそが「企業の社会的責任（CSR）」を果たしていく上で最も大切なことと考えております。その上で、よりよい社会づくりのためにさまざまな社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。

● 芸術文化（アート）をとおして、つながっていくさまざまな活動

芸術文化（アート）には、「さまざまな人々をつなげていく力」があります。当社はこれまで、クラシック音楽のコンサート活動を通じ、多くのお客さまや地域の方々、また障がいのある子どもたちと音楽をとおして、つながってきました。そして、こうした芸術文化（アート）による活動は、コンサートだけにとどまらず、さまざまな活動へと発展・成長し続けております。

「フコク生命 訪問&チャリティコンサート」

この活動は、平成元年度に始まった本社ビルでのロビーコンサート「フコク・サロンコンサート」から発展してきました。

「フコク生命 訪問&チャリティコンサート」は、生の音楽演奏に触れる機会が限られる障がいのある方々にプロの音楽家による「本物のクラシック音楽の演奏」をお届けする「訪問コンサート」と、ご来場の皆さまに地域の福祉にお役立ていただく募金へのご協力をお願いする「チャリティコンサート」を、同じ地域であわせて開催するものです。

● 訪問コンサート

平成15年度より、「チャリティコンサート」を開催した地域の特別支援（養護）学校や障がい者施設などを訪問し、「チャリティコンサート」の出演者による「訪問コンサート」を行っております。

「訪問コンサート」では、単に音楽家の演奏会をお届けするだけでなく、当社支社スタッフやお客さまアドバイザーなども参加する、音楽家とコラボレーションするプログラムも行っております。

「訪問コンサート」は、平成26年度末までに通算207カ所を訪問いたしました。



● チャリティコンサート

平成5年度から開始した入場無料の「チャリティコンサート」では、会場でお客さまにチャリティ募金のご協力をお願いしております。ご協力いただいたチャリティ募金は、コンサート開催地の社会福祉協議会などへお届けし、地域の社会福祉にお役立ていただいております。

また、コンサートのご案内や当日の受付などの運営は、開催地の支社スタッフ・お客さまアドバイザーが行い、舞台上で音楽家とコラボレーションするプログラムも行っております。

「チャリティコンサート」は、平成26年度末までに、通算254回開催し、寄付総額は、約5,490万円となりました。



● コン서트会場での障がい者施設の製品販売会

「訪問コンサート」でのつながりの中から生まれた活動です。「チャリティコンサート」の会場ロビーへ、障がいのある方々の施設などをお招きし、施設で作られた製品の販売会を行っております。障がいのある方への理解の促進や社会参加の機会拡大に少しでもお役に立てればと考えております。



▲当社職員も販売会のスタッフとして参加。

● 音楽をもっと多くの方に～バリアフリーコンサート～

「これまで以上に多くの方々が楽しめるコンサート」づくりを目指して、聴覚障がいのある方向けに「体感音響システム」の導入や手話通訳、要約筆記(字幕)、視覚障がいのある方向けに点字プログラムなどをご用意した「バリアフリー・コンサート」なども行っております。

さらに、「体感音響システム」を使用せず、生のクラシック音楽をろう学校へお届けするオリジナルプログラム「タッチ・ザ・ミュージック!」も行っております。これは、子どもたちに直接ピアノに触れてもらったり、下に入ってもらうなどして、楽器の振動を直接身体に感じていただくプログラムです。触っていただくピアノは、プロのコンサートで使用されるスタインウェイ・ピアノです。



▲ピアノに触って、身体で音楽を感じる「タッチ・ザ・ミュージック!」。

● 「フコク生命パートナー・アーティスト」とともに

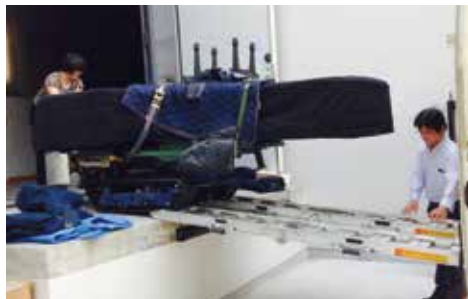
コンサートに出演するのは、活動の趣旨に賛同し、当社と相互理解を深めた「フコク生命パートナー・アーティスト」です。彼らは、単なる出演者ではなく、ともにさまざまなプログラム創りなども行い活動を進めていく重要なパートナーです。「フコク生命パートナー・アーティスト」は、日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーや国内外で活躍するトップレベルの音楽家で構成されています。



▲コンサートの最後は、お客さまとともに、舞台上で支社スタッフも手拍子で演奏に「参加」。

● 広がるパートナーシップ

「名器の音を届けたい」と、ピアノの貸出しや調律などを行っているタカギクラヴィア株式会社は、「訪問コンサート」のために名器「スタインウェイ」を全国に運んで来ています。また、聴覚に障がいのある方向けに「身体(からだ)で聴こう音楽会」を開催しているパイオニア株式会社からは、「体感音響システム」の貸出しの協力をいただいております。



▲ピアノ搬入の様子。協力：タカギクラヴィア株式会社(フコク生命パートナー・コンサート・チューナー)

■ フコク生命パートナー・アーティスト一覧

植村 太郎(ヴァイオリン)	桐朋学園大学院修了 日本音楽コンクール1位 名古屋フィル客演コンサートマスター
大森 潤子(ヴァイオリン)	東京芸大首席卒・同大学院修了 札幌交響楽団 第二ヴァイオリン首席奏者
北村 哲朗(バリトン)	東京芸大大学院首席修了 ドイツ国家演奏家資格最優秀賞受賞
沢崎 恵美(ソプラノ)	洗足学園音楽大卒 (財)日本オペラ振興会育成部修了 文化庁国内芸術研究員 日本オペラ協会会員
嶋崎 裕美(ソプラノ)	東京芸大大学院修了 東京学芸大准教授 尚美学園大講師 日本声楽アカデミー会員 日本演奏連盟会員
武田 美和子(ピアノ)	東京芸大・ミュンヘン国立音大大学院修了 マリア・カナルス国際やヴィオッティ国際コンクール入賞
竹村 浄子(ピアノ)	東京芸大大学院修了 ショパン国際ピアノコンクールディプロマ受賞
田中 梢(ピアノ)	東京学芸大卒 東京芸大非常勤講師 東邦音大非常勤講師
土田 聡子(ソプラノ)	東京芸大卒 サンレモ国際音楽コンクール審査員特別賞 ローム国際コンクール入賞 二期会会員
中井 恒仁(ピアノ)	東京芸大大学院・ミュンヘン国立音大大学院修了 ヴィオッティ国際音楽コンクール3位 桐朋学園大准教授
日本フィルハーモニー交響楽団	1956年設立、日本を代表するオーケストラの一つ
長谷部 一郎(チェロ)	桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了 日本音楽コンクール1位 東京都交響楽団員
益田 真理(フルート)	上野学園大卒 桐朋学園大ディプロマ・コース修了 日本フルート協会主催ドップラー・コンクール入選
森 美佳(ソプラノ)	国立音楽大学声楽学科卒 ウィーンに留学 米カーネギーホール出演 二期会会員
山本 薫(ヴァイオリン)	東京芸大卒 フライブルグ音大大学院首席修了 全日本モーツァルトコンテスト1位 メンデルスゾーンコンクール1位

(五十音順)

すまいる・ぎやらりー～特別支援学校児童・生徒作品展～

平成24年度には、「訪問コンサート」でお伺いした特別支援（養護）学校との交流から、特別支援（養護）学校の子どもたちの絵画作品などを展示する「すまいる・ぎやらりー」を行っております。内幸町本社ビル地下2階の商店街壁面で、作品を多くの方にご紹介することで、作品製作の応援活動として運営しております。また、出展作品を使用したカレンダーの作成を行い、お客さまへ当社職員、お客さまアドバイザーなどがお配りしております。



▲当社内幸町本社地下2階の商店街壁面に作品を展示。作品は、当社のカレンダーにも。

■平成26年度「すまいる・ぎやらりー」開催実績

開催期間	出展校名
平成26年 4月14日(月)～5月9日(金)	福島県立会津養護学校
平成26年 6月2日(月)～6月27日(金)	福島県立郡山養護学校
平成26年 7月10日(木)～7月31日(木)	千葉県立特別支援学校流山高等学園
平成26年 8月4日(月)～8月29日(金)	岩手県立釜石祥雲支援学校
平成26年10月6日(月)～10月31日(金)	宮城県立石巻支援学校
平成26年12月15日(月)～平成27年1月9日(金)	岩手県立気仙光陵支援学校
平成27年 1月26日(月)～2月13日(金)	福島県立聾学校本校
平成27年 2月16日(月)～3月6日(金)	福島県立聾学校平分校・福島分校・会津分校

アート活動を組み合わせた東日本大震災被災地応援活動

当社では、東日本大震災からの復興には長い時間が必要であり、応援活動も長期継続したいと考えております。そのため今まで続けてきた活動を活用して、被災地応援活動を行っております。また、被災地が必要とする支援の内容も時間とともに変化しており、震災発生後から開始した、当社の応援活動も被災地のニーズや状況にあわせて変わってきています。

平成26年度も、前年度に引き続き福島県、宮城県、岩手県の応援活動を一定期間設定し、その期間中に「被災地訪問コンサート」などの活動を集中して行いました。

■平成26年度「東日本大震災被災地応援活動」活動実績

開催期間	6月	8月	10月
対象地域	福島県	岩手県	宮城県

●被災地応援・訪問コンサート

「訪問&チャリティコンサート」の訪問経験を活かし、被災地の特別支援学校を中心にした「訪問コンサート」を各被災地の応援期間に開催いたしました。このコンサートにおける福島県立聾学校との交流の中で、「タッチ・ザ・ミュージック！」のプログラムが生まれました。

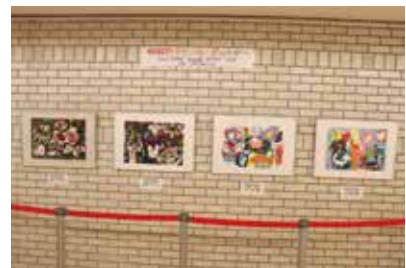


●「すまいる・ぎやらりー」における

被災地の特別支援（養護）学校の児童・生徒作品展

「被災地訪問コンサート」での福島県立郡山養護学校との交流から生まれた「すまいる・ぎやらりー」を被災地応援活動に活用し、被災地の各県の特別支援（養護）学校の児童・生徒作品展を開催しております。各校の展示期間の前後をその県の応援期間としております。

また、この期間中には、フコク生命本社ビルの商店街でも、「東北応援フェア」が開催されました。



● 被災地特産品販売会

福島県、宮城県、岩手県の被災各県の特産品を販売する「被災地特産品販売会」を内幸町本社地下1階のオープンスペースと千葉ニュータウン本社の研修センター大講堂で、各県の応援期間に合わせ開催しております。震災当初は、社内向けであったものを社外の方にもオープンにすることで、より多くの方にご協力をいただいております。このような販売会は、「訪問&チャリティコンサート」会場ロビーにおける障がい者施設による販売会から生まれたものです。



▲本社ビル地下1階のオープンスペースを使用した「被災地特産品販売会」

■平成26年度「フコク生命 訪問&チャリティコンサート」開催実績

訪問コンサート				チャリティコンサート		
支社	回数	開催日	訪問先	回数	開催日	会場
立川	198	平成26年 5月15日(木)	東京都立立川ろう学校 ※1	245	平成26年 5月14日(水)	たましんRISURUホール 大ホール
秋田	199	平成26年 6月11日(水)	秋田県立秋田きらり支援学校 秋田県立盲学校 秋田県立聾学校 ※2	246	平成26年 6月10日(火)	秋田アトリオン音楽ホール
前橋	200	平成26年 8月29日(金)	社会福祉法人 希望の家療育病院	247	平成26年 8月28日(木)	ベイシア文化ホール小ホール
金沢	201	平成26年 9月 9日(火)	金沢大学附属特別支援学校	248	平成26年 9月 8日(月)	北國新聞赤羽ホール
鳥取	202	平成26年10月16日(木)	障害者福祉センターあさひ園	249	平成26年10月15日(水)	鳥取市文化ホール
佐賀	203	平成26年12月 4日(木)	佐賀県立うれしの特別支援学校	250	平成26年12月 3日(水)	佐賀市文化会館中ホール
長崎	204	平成26年12月10日(水)	長崎県立虹の原特別支援学校	251	平成26年12月 9日(火)	長崎市民会館文化ホール
山口	205	平成27年 1月30日(金)	山口県立山口総合支援学校	252	平成27年 1月29日(木)	周南市文化会館大ホール
神戸	206	平成27年 2月 5日(木)	兵庫県立芦屋特別支援学校	253	平成27年 2月 4日(水)	神戸新聞社松方ホール
千葉NT 本社	207	平成27年 3月10日(火)	社会福祉法人印旛福祉会 いんば学舎・草深	254	平成27年 3月 9日(月)	フコク生命千葉NT 研修センター

(訪問先敬称略)

■平成26年度「フコク生命 被災地応援・訪問コンサート」開催実績

開催日	訪問先	開催日	訪問先
平成26年 6月5日(木)	福島県立聾学校(本校) ※3	平成26年10月18日(土)	福島県立会津養護学校竹田分校
平成26年 6月6日(金)	福島県立郡山養護学校	平成26年11月27日(木)	福島県立聾学校平分校・富岡養護学校 ※7
平成26年10月2日(木)	電力ホール(仙台支社) ※4	平成26年11月28日(金)	福島県立聾学校福島分校 ※8
平成26年10月3日(金)	宮城県立利府支援学校	平成26年12月 9日(火)	釜石市立釜石東中学校
平成26年10月7日(火)	郡山市民文化センター大ホール(福島支社) ※5	平成26年12月10日(水)	岩手県立釜石祥雲支援学校
平成26年10月8日(水)	福島県立会津養護学校	平成26年12月18日(木)	福島県立須賀川養護学校
平成26年10月8日(水)	福島県立聾学校会津分校 ※6	平成26年12月19日(金)	福島県立あぶくま養護安積分校

※1, 2, 3, 6, 7, 8: ろう学校向けプログラム「タッチ・ザ・ミュージック!」を実施。

※4: 「がんばろう! みやぎ! 応援コンサート」として開催。

※5: 「がんばろう! ふくしま! 応援コンサート」として開催。体感音響システム設置公演。

(訪問先敬称略)

METライブビューイングへの協賛

ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場（MET）で上演されたオペラ公演をハイビジョン映像で映画化し、上映する「METライブビューイング（松竹株式会社主催）」に協賛しております。最上級のオペラ芸術に接する機会をご提供する活動に協賛することで、芸術文化振興に貢献しております。



METライブビューイング2014-15《メリー・ウィドウ》
©Brigitte Lacombe/Metropolitan Opera

障がい者施設運営のベーカリーショップの出張販売会

内幸町本社や千葉ニュータウン本社主催の「訪問&チャリティコンサート」でのロビー販売会をきっかけに、毎月両本社内において障がい者施設運営によるベーカリーショップの出張販売会を行っております。当社職員も販売会のスタッフとして参加するなど、販売場所をご提供するだけでなく施設との協働運営を行っており、社内における障がいのある方への理解促進の一助と社会参加を支援しております。



販売団体

内幸町本社：社会福祉法人「緑の風」運営「さくらベーカリー」

千葉ニュータウン本社：社会福祉法人印旛福祉会「いんば学舎・オソロク倶楽部」

「ハローキティ」の病院訪問活動

当社イメージキャラクターである「ハローキティ」が、小児病棟などを訪問し、入院中のお子さまやそのご家族を応援する活動です。キティちゃんとの記念写真を、当社考案の写真立てにもなる、オリジナルフォトフォルダーに入れてプレゼントしております。このフォトフォルダーは社内有志が作成しております。また、表紙をデコレーションするアート・プログラムも行っております。



■平成26年度「『ハローキティ』の病院訪問活動」活動実績

実施日	訪問先
平成26年4月23日(水)	日本赤十字社医療センター
平成26年9月11日(木)	那須赤十字病院
平成27年3月5日(木)	東京都立小児総合医療センター

▶社内で考案した写真立てにもなるフォトフレーム。ハローキティのオリジナルデザインに加え、表面には、当社職員の手作りのデザインやイラストが描かれています。

ピンクリボン運動、HelloSmile（ハロースマイル）への協力

当社では、平成20年度より乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボンフェスティバル（日本対がん協会など主催）」への協賛などを通じ、ピンクリボン運動を支援しております。

さらに平成23年度には子宮頸がんの予防啓発を推進するプロジェクトHelloSmile（ハロースマイル）へ参画し、同プロジェクトの支援も行っております。

具体的な取組みとして、当社職員が、ピンクリボンバッジやHelloSmileバッジをつけ「啓発パンフレット」などをお客さまに配布して、検診の大切さを伝えるなどの活動を行っております。



大阪富国生命ビルの社会貢献活動

平成22年に竣工の「大阪富国生命ビル」は、京都造形芸術大学「大阪サテライトキャンパス」、立命館大学「大阪キャンパス」などの大学関係施設や、大阪大学との産学連携活動の支援施設などを誘致し、芸術文化、健康などに関する情報を地域社会に発信しております。

また、大阪大学の先生方が中心となり設立された植物研究を通じた緑豊かな生活環境の構築を目指す「智の木協会」へも参画しております。



債券投資を通じた社会貢献事業支援

——世界銀行発行の「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」の購入——

当社は平成27年3月に世界銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへ投資を行いました。

今回の投資は、ご契約者の大切な資金を運用するにあたって、収益性の確保のみならず、当社の経営理念である「社会への貢献」を果たしうる手法であると位置づけており、今後も、同様の投融資を継続的に実施していきたいと考えております。



本投資を通じて世界銀行より感謝状が贈呈されました。
(左より世界銀行財務局 有馬駐日代表、米山社長)



教育改善プロジェクト(アルメニア)
©World Bank



貧困層の母子保健プロジェクト
(アルゼンチン)©World Bank

サステナブル・ディベロップメント・ボンドは、世界銀行が開発途上国の貧困削減および開発支援のために取り組む、教育・保健・インフラ・行政・農業・環境等の幅広い分野のプロジェクトを支えるために国際資本市場で発行されます。

その他の取組み

全国各支社での独自の取組み

各支社単位でお客さまアドバイザー、内務職員が独自の社会貢献活動を行っております。

SRI（社会的責任投資）ファンドの提供

企業年金、確定拠出年金の資産運用にSRI（社会的責任投資）ファンドの提供を行っております。これは、企業の社会的責任（CSR）を評価して運用を行う投資手法で、従来の財務分析に加えて、環境面、社会・倫理面での評価を行います。CSRに優れた企業に投資することで、結果として社会の健全な発展に貢献するものと考えております。

環境へ配慮した活動を推進しております。

温暖化対策をはじめとする環境保護への取組みは、わたしたちが健康で豊かな生活を営む上で重要なものとなってきています。当社では、職員一人ひとりがしっかりと環境への意識を持ち、行動していくことが大切であると考えております。また、オフィスビルなどで省エネルギーへの取組みも行っております。

「フコク生命(いのち)の森」プロジェクト

平成18年度より、当社の役職員が環境問題への意識を高めていくため、環境保護活動に参加・体験することのできる場として、「竹害対策」を主とした「フコク生命(いのち)の森」プロジェクトを行っております。

現在、後継者不足などで、人の手が入らなくなった放置林が増えています。中でも繁殖力の強い孟宗竹（もうそうちく）の放置林は、温室効果ガスの一つであるCO₂の吸着に必要な森林を侵食してだけでなく農耕地への侵入などの悪影響を引き起こしています。また、根の浅い竹林は、地すべりや表土の流失の原因ともなり、山林の荒廃や土砂崩れなどの災害の原因ともなります。これを「竹害」と言い、自然環境の保全や災害対策としても、この「竹害」への対応が必要となってきています。

当社が静岡県伊東市宇佐美に保有する山林においてもこの「竹害」は広がっており、この山林を保全するため、竹林伐採を当社役職員の手によって行う活動が、「フコク生命(いのち)の森」プロジェクトです。この活動は、竹林の伐採による森の再生だけでなく、間伐により竹林自体も健全な状態に戻していくことを目標としております。

平成26年度は、12回実施され、174名の役職員とその家族などがボランティアで参加しました。



活動の中心的存在「宇佐美倶楽部」の活動

竹林伐採活動は、社内の有志によって組織された「宇佐美倶楽部」が中心となって進められています。「宇佐美倶楽部」は、これまでの活動をとおして高い技能と経験を身につけており、毎回の活動において、社内の一般参加者の指導などを行う中心的存在です。

さらに、竹林伐採活動を進めていくだけでなく、切り出した竹を活用して、山道の造成・補修やベンチ作りなどを行うなど、自分たちの手と工夫で「フコク生命(いのち)の森」を創り出す夢を持って活動を続けております。



フコク・クリーン倶楽部（FCC）活動

平成18年1月より千葉ニュータウン本社勤務者により、最寄駅「北総鉄道 千葉ニュータウン中央駅」の駅前清掃活動を行っております。毎月、有志の団体「フコク・クリーン倶楽部（FCC）」により活動が行われております。



ペットボトルキャップ回収活動

平成19年度より本社内にて「ペットボトルキャップ回収活動」を行っております。回収したペットボトルキャップをリサイクルすることで、CO₂発生抑制や省資源化に貢献しております。

またその買取代金をペットボトル回収ボランティア経由で、「世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」へ寄付し、ポリオワクチンなどを世界の子どもたちへ届ける活動にも貢献しております。

ペットボトルキャップ回収実績

平成19年8月回収開始以来、
平成27年2月回収分まで

- 累計個数 約161万個
- CO₂削減量 約12,700kg
- ポリオワクチン 約2,020人分相当



環境に配慮した大阪富国生命ビル

平成22年にオープンした大阪富国生命ビルは、屋上・敷地内への緑地の確保、環境に配慮した空調システムの導入、電気エネルギー削減の工夫など、地球環境の改善に取り組んでおります。こうした取組みが高く評価され、大阪市建築物総合環境評価制度において、「第5回顕彰建築物 CASBEE大阪 OF THE YEAR 2010」の表彰を受けております。



本社ビルにおける総エネルギー使用量の状況

内幸町本社ビル			千葉ニュータウン本社ビル		
年度	原油換算KL	前年度比	年度	原油換算KL	前年度比
平成24年度	4,125	1.7%	平成24年度	2,052	-6.6%
平成25年度	4,222	2.3%	平成25年度	2,056	0.2%
平成26年度	4,019	-4.8%	平成26年度	2,001	-2.7%

※電気・ガスなど総エネルギー使用量を原油使用料に換算して表示しております。
※内幸町本社ビル、および千葉ニュータウン本社ビルは、「省エネルギー法」における「エネルギー管理指定工場等」に指定されております。